

## IV. 1999年度研究会日誌

月/日	報告内容	報告者
(1999)		
5/25	研究会 実践教育における正統的周辺参加理論 ～レイヴ+ウェンガー『状況に埋め込まれた学習～正統的周辺参加～』	岡本 純也
6/29	研究会 ムウアーハウス氏（グラスゴー大学）のサッカー社会学	内海 和雄
10/18	研究会 メディアスポーツの動向	早川 武彦
11/1～2	秋季研究合宿【スポーツのグローバリゼーションと多元性】 (妙高)	
	タイヒラー『第三帝国の国際スポーツ政策』の翻訳・報告	上野 卓郎
	スポーツ・身体・民俗～スポーツ史像の再検討（3） ～相撲の民衆史的再構成をてがかりとして～	高津 勝
	「グローバルなスポーツ公共圏」論の可能性	鬼丸 正明
12/14	研究会 「地方分権」の動向	尾崎 正峰
(2000)		
2/7	ゲスト研究会 企業社会日本の再構成	社会学部教授 渡辺 治
4/2～3	春季研究合宿【90年代のスポーツ像とスポーツの本質の研究】 (箱根)	
	改めて、スポーツの本質とは何か、を考える	関 春南
	教育実践研究と臨床教育学	藤田 和也
	スポーツの90年代像～市場化と公共性の対抗～	内海 和雄